



ちゃんとした人間関係を増やすには。

多くの方は「人間は一人では生きていけない」という言葉を使つたり、聞いたりしたことがあると思います。そしてこの言葉が、非常に大切な言葉だ、という認識をお持ちではないでしょうか？

たしかに人間は昔から家族という単位で生活し、その家族が集まり、集落となり、人間関係を築き、拡張しながら、年を重ねてきました。そして、誰かとの共同作業によって、一人では成し遂げることのできないものを作り上げてきました。

一人では生きていけないという言葉の意味をしっかりと理解して、本当の意味に従つて行動するように心掛けることが重要になつてくるのだと思います。

多くの方は「人間は一人では生きていけない」という言葉を使つたり、聞いたりしたことがあると思います。そしてこの言葉が、非常に大切な言葉だ、という認識をお持ちではないでしょうか？

他人が存在しているからこそ感じることのできる喜びや、他人からの反面教師によって学べるたくさんの大切なことがあるということも多くの方は認識していると思います。

しかし、最近の世の中の人間関係を見ていて、この意味をしつかりと実感できずに、極端な人間関係が多くなってしまった。そして、誰かとの共同作業によって、一人では成し遂げることのできないものを作り上げてきました。

私は、毎日一度は「人間は一人では生きていけない」という言葉を意識するように心がけています。少しずつですが良い方向に進んでいる気がします。

多くの方は「人間は一人では生きていけない」という言葉を使つたり、聞いたりしたことがあると思います。そしてこの言葉が、非常に大切な言葉だ、という認識をお持ちではないでしょうか？

この方法なら、照れや恥ずかしさを感じなくともいいと思いませんか？

頭の中では、下心は無く、他人に対する思いやりや心配りから、結果として感謝されれば素晴らしいということは知っていますのに、どうしても自分の欲求を抑えきれないのです。

私も、毎日一度は「人間は一人では生きていけない」という言葉を意識するように心がけています。少しずつですが良い方向に進んでいる気がします。

皆さんも、日常何気なく使用している言葉の意味を改めて確認し、適切に使っているのか、また行動が伴っているのか、を確認してみてはいかがでしょうか？きっと誰かのせいにしていることが少なくなり、良好で楽しい本来の人間関係が増えていくはずです。

これでは、いかにもギクシャクしそうですね。

それは、自己中心的な考え方から生まれる対人関係や、依存度が高過ぎる関係のことで、自らの欲求を達成することだけを前提とした人間関係です。

比較的組織というものに属さない生意気な私も、一人では生きていけない現実の中で生活していることを、日々実感しています。

たまに、しかし、個人個人の認識を変えるだけでも、これから時代を明るい方向に回復させることは、そんなに難しくはないように思います。

吉田太一

1964年大阪市生まれ。調理師、引越運送業を経て、2002年、遺品整理のサポートの必要性を感じ、日本初の「遺品整理専門会社キーパーズ」設立。著書は「遺品整理屋は見た!」「遺品整理屋は見た!! 天国へのお引越しのお手伝い」「孤立死 あなたは大丈夫ですか?」(いずれも扶桑社)など多数。